

# Kaleidoscope

- 万華鏡のように変化し連続する風景 -



筑波研究学園都市は新交通の登場により今や貴重なはずの自然や農地が、それらとは無関係な住宅地に置き換わりつつある。  
森林や農地と住宅地の際にあたるこのエリアに農業のフリースクールを計画し、農業を中心とした地域貢献の在り方と知的生産性を考える。

## ■コンセプト



郊外のフラットな大地では、過密した都市でもできるような配置ではなく、周辺と連続した、地形のような建築がよい。

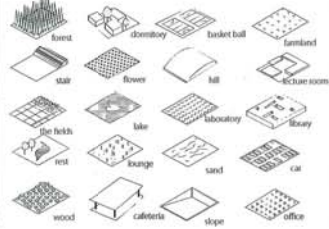
## ■アプローチ



それぞれのエリアをまたぐように敷地を設定し、各要素のスケールに呼応するように建築の高さを決める。



周辺の要素(森、畑など)に隣り合うようにスクールの機能をヒエラルキーなく分配する。畑やスポーツの場所は広場となり、通風・採光のためのvoidとなる。



さまざまな風景が平面的、断面的に交錯する。歩き回ることによって風景は変化しながら連続し、偶然の出会いや学び、発見を創り出す。時間が動き出す。

